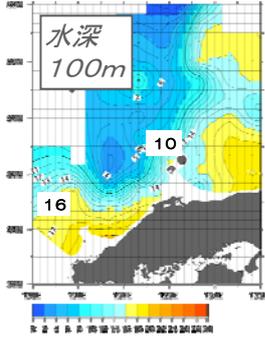
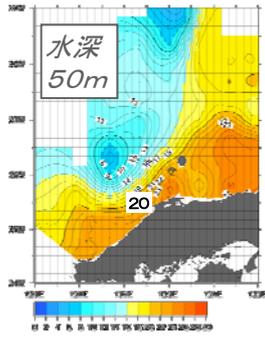


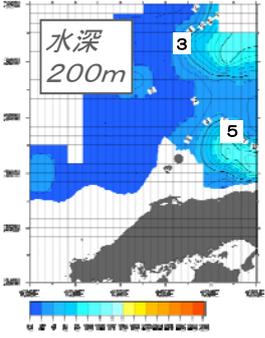
鳥取県沖と隠岐周辺海域は27°C前後で先月より1°C上昇し、平年より約2°C高めの値となっています。



隠岐周辺海域と鳥取県沿岸域では14°C前後で、先月より約2°C低下しました。



鳥取県沖と隠岐周辺海域は20°C前後で先月とほぼ同値、隠岐北西海域には冷水塊があるため平年より1~8°C低め、島根~鳥取沿岸では2~4°C高めとなっています。



兵庫県沖合、北緯36°00'と北緯38°00'付近に暖水塊が発達しています。

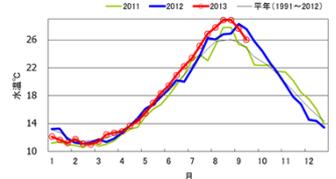


鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

9月中旬 26.0°C

平年より1.2°C高め



9月上旬の水塊配置と対馬暖流



- 島根沖冷水の沿岸への張り出し：先月は隠岐北東海域に及んでいた島根沖冷水の張り出しは隠岐北方海域付近まで後退しました。
- 沖合の対馬暖流：対馬暖流は島根半島西端から隠岐北方に向かう流れが卓越しています。

*フェリー「おき」による隠岐海峡の水温情報や県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ（鳥取県水産試験場で検索してください）に詳しく掲載しています、ぜひご利用ください。

水産試験場

中海水産資源生産力回復調査

水産試験場では、国土交通省が中海(米子市大崎地先)に整備した造成浅場における水産資源の生息状況調査を行っています。特に、中海圏の市民には馴染みの深い「焼きハゼ」の原料となるマハゼを中心に、出現状況の調査を行っています。



さらには、調査と並行して、この造成した浅場をより魚が住みやすい環境にするため、竹を使った魚礁(竹林礁)作りも試験的に行いました。まだ調査を開始して1年が経過したところですが、夏場を中心に造成浅場がマハゼの育成場として利用されている様子が見えてきました。一方、気象の攪乱により時折浅場内に進入する貧酸素水の存在は、マハゼの生息環境を不安定なものとする最も大きな要因である可能性も垣間見えてきました。今後もこの調査を継続し、中海におけるマハゼ資源の再生手法を検討し、中海の漁業再生と中海圏の伝統的な食文化の保全につなげていきたいと思えます。

栽培漁業センター

赤碕、網代、田後でキジハタ種苗の試験放流を行いました。

9月18日に赤碕、網代、田後でキジハタ種苗放流試験を行いました。今年から、漁業者が主体で放流を行う体制へ前進し、早朝より当センターへ種苗を取りに来ていただきました。今年の試験では、種苗代の更なる低減を目指し、例年(全長7~9cm)より小さい種苗(平均5.5cm)を放流し、放流初期の生残や食害魚による捕食など調査しました。

地区	場所	水深(m)	平均全長	尾数
赤碕	西港西	8	5.5cm	9000
	菊港内	1m以浅		1000
網代	網代漁港東	5~8		2000
田後	田後港内	1m以浅		1000



大きくなって帰って来てね！

放流や調査にご協力いただきありがとうございました。

潜水や刺網調査の結果、種苗がきちんと生き残っていることが確認でき、さらに食害魚による捕食もほとんど見られず、手ごたえを得ています。

10月1日には、酒津で小型種苗を放流し、再検証を行います。今後の成果にご期待ください。

★水産課からのお知らせ★

★境港水産祭りの開催について★

■境港の年に1度の恒例行事、境港水産まつりが今年も開催されます。当日は境港に水揚げされた新鮮な魚介類や水産加工品の販売、試食会等が開催されますので皆さんぜひ足を運んで下さい。

- 日時：平成25年10月13日(日)
場所：境港市昭和町(魚市場)周辺
内容：
○鮮魚・水産加工品即売コーナー
○境港大漁太鼓 ○体験乗船《第二鳥取丸》
○無料試食コーナー《ゆでガニ・カニ汁等》
○水産学習コーナー《魚のつかみ取り 他》



★沖合底びき網漁船恵長丸完成★

平成25年8月29日に進水式が行われた新造船恵長丸の竣工式が9月22日に岩美町網代漁港で行われました。当日は150名ほどの漁業関係者及び地元住民が集まり、今後の鳥取県の漁業を担う新たな漁船の完成を盛大に祝いました。

〈竣工式及び祝賀会の風景〉

【恵長丸の概要】

船名	恵長丸
漁業種類	沖合底びき網漁業
主な根拠地	鳥取県岩美町(県漁協網代港支所)
総トン数	120トン
主要寸法	(長)29.48m×(幅)6.25m×(深)2.58m
建造費(船価)	387,975千円



★関西本部からのお知らせ★

9月28日(土)に、「鳥取県ファンの集いin関西」がリーガロイヤルホテル大阪で開催されました。関西在住の鳥取県出身者、勤務経験者など鳥取県にゆかりのある方々の相互交流を深めていただくとともに、参加される方々へ鳥取県の最新トピックや文化・歴史・自然などの情報発信を行い、本県への関心をより一層深めていただくことが目的です。

このたび、「鳥取県ファンの集いin関西」の開催に当たり、鳥取県漁協より、旬の水産物として、赤いか、さわら、ハタハタの提供をいただきました。見てびっくりの巨大いが「赤いか」、本場瀬戸内海に負けない「鳥取のさわら」、脂のりに自信ありの「ハタハタ」、いずれも近年、漁獲が安定してきた鳥取の新しい顔になる水産物はあります。関西在住の皆様はもちろん、県内から、平井知事、各市町村長も見えられた中で、広がりみせる鳥取県産魚の魅力PRをPRできました。ありがとうございました。

(関西本部 本田)

■今月の漁業許可証更新情報

平成25年10月末までに許可の更新が必要な漁業種類はありません。

■遊漁船登録業者の皆様へ...遊漁船登録に保険期間等の変更があった時は、変更申請をお忘れなく

平成25年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。



共和水産株式会社

代表取締役会長 相田 仁

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL 0859-44-7171 (代) FAX 0859-42-6530

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424

境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330